



訪問診療・往診専門

医療法人

かさまつ在宅クリニック

かさまつ

通信

No. 11

(平成 28 年 12 月)

県民公開講座を終えて

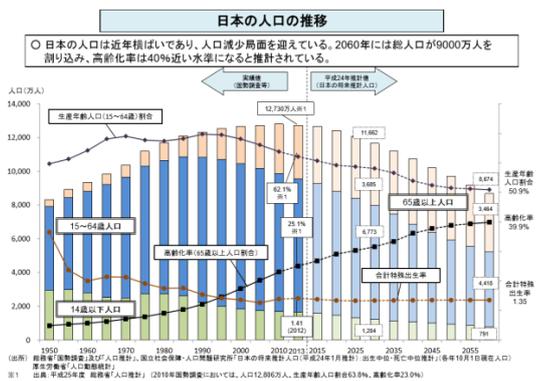
～住み慣れた場所で自分らしく生活するために～

平成 28 年 11 月 5 日（土曜日）、徳島県立中央病院にて、県民公開講座が開催されました。今回は、シンポジストとして在宅医療について発表してきたことの要旨です。国は、高騰する医療・介護費用の関係から、入院医療ではなく在宅医療を推し進めています。また、急速に高齢者が増えるため、入院するベッドが足りず、“入院したくても入院できない”、“病院で最期を迎えたくてもできない”。そんな現実が近くなってきています。

現在、国民の約 80%の方が病院で最期を迎えています。多くの国民の方の終末期に対する意識変容が必要となってきました。家での介護は、簡単なものではありません。長い年月続くこともあります。ただ、介護のポイントや終末期の状態変化について、あらかじめ知っておくと、少し不安が解消されるかもしれません。最近では、“レスパイト入院”といって、介護者の休息のための入院を受けいれてくれる病院が増えてきています。

発表では、がんで亡くなった方の事例を通して、在宅で可能な医療処置や在宅療養の実際もお話しさせていただきました。～住み慣れた場所で自分らしく生活するために～患者さんやそのご家族が、笑顔で過ごせるように、病院関係者、介護関係者、在宅スタッフなど医療・介護の関係者全員が、力をあわせて、難しい課題ですが乗り越えていかなければなりません。

(院長 笠松 哲司)



これからどうなるのでしょうか

1. 20年間の推移 (2010-2030)

2. 2030年以降の推移 (2030-2055)

3. その他、よくある誤解として

4. 高齢者が抱える課題と、それを支える社会と家族の役割

緩和ケア普及のための  
地域プロジェクトより引用





訪問診療・往診専門

医療  
法人

かさまつ在宅クリニック

かさまつ

通信

No. 11

(平成28年12月)



師走に入り、今年も慌ただしい季節になりました。

季節外れの暖かい日が続いたと思えば急に冷え込んだり、今年は例年になく体調管理が難しい冬のように思います。先日は、我が家の3人の子供たちも、同時一斉に嘔吐下痢を発症してしまい、職業柄たいがいのことには動じない私ですが、さすがに真夜中の大騒ぎにはげっそりしました（笑）。

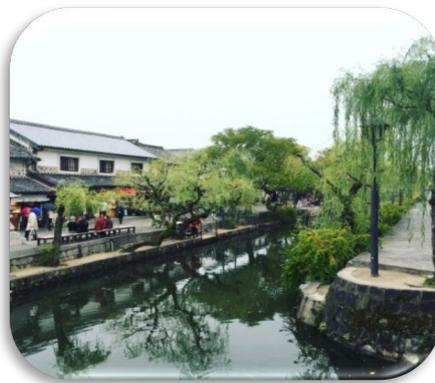
さて、11月は私にとって大変忙しい月となりました。

11月8日は、県立中央病院の医療スタッフや県の関係者の方々とご一緒して、岡山県倉敷市の倉敷中央病院の視察に行っていました。倉敷市では、小児在宅医療のシステム化が全市で進んでおり、連携医療機関の在宅医療患者さんに対する医療的ケアの手技が統一化されていたり、倉敷中央病院での医療型ショートステイも整備されていたりなど、非常に勉強になった視察でした。近い将来に医療型と福祉型が一体化されたデイケア施設も稼働予定であるとのことでした。医療と福祉の間には、なんだか目に見えない壁があるように感じる今日この頃なのですが、高度な医療的ケアを必要とする小児在宅患者さんが成人へと成長していく過程で、生まれたときから一貫したフォローが可能なシステムが構築されているのが素晴らしいかったです。

13日には、東京・国立成育医療センターにて、厚労省委託事業である小児在宅医療人材養成研修会に参加しました。昨年度に続き2回目の参加ですが、今回も非常に濃い内容の講義を丸1日缶詰め状態で受講しました。全国各地でリーダーとなって小児在宅医療を実践されている著明な先生方ともお話しする機会を得て、たくさんの励ましのお声をいただきました。

そして25日は、徳島県看護協会徳島県訪問看護支援センター主催の在宅療養事例検討会・訪問看護ネットワーク推進教育研修プログラムにて講師としてお招きいただき、「はじめよう小児の訪問看護」と題して講演させていただきました。小児の在宅医療には、地域の訪問看護師を始めとする多職種の連携が必要であります。この研修会には60名を超す参加があり、小児の患者さんにも多くの方の目を向けていただければ、もっと充実した支援が可能になると実感しました。

徳島県の小児在宅医療は他県にかなりの遅れを取っておりますが、できることから少しずつ実践し広めていこうと思います。



(小児科 笠松 由華)

倉敷美観地区に寄り道。



## 年末年始のお知らせ

12月29日(木)～1月3日(火)までの間、事務所を閉めさせていただきます。

御迷惑をおかけしますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

尚、定期訪問などにつきましては、個々に日程調整をさせていただきます。

